

奈良ゆみ
ソプラノ リサイタル
Yumi Nara Soprano Recital

芸術家は確かに尊敬に値する。ただし、聴衆はもっとそうである。(エリック・サティ)
我々が行うあらゆることは音楽である。何でも音楽として聴けば音楽になる。(ジョン・ケージ)

INSPIRATION

～エリック・サティ & ジョン・ケージ～
～Erik Satie (1866-1925) & John Cage (1912-1992)～

『ブランコ』 エリック・サティ
こうしてゆれているのは私の心
でも 目まいなんかしない
何と可愛らしい足しているのだろう
私の胸の中にもどりたい というのかな
(藤富保男 訳「エリック・サティ詩集」より)

ジョン・ケージ
N 時の空間
O に
T 紙を変える
A 紙のきず
T その上に
I 音楽が書かれる
O 書かれる
N 以前に音楽はそこにある
(岩佐隼男 訳 / 小沼龍一 著
『ジョン・ケージ著作選』より)

photo : Brigitte Enguérand

ピアノ：寺嶋陸也
Piano Rikuya Terashima

照明：中川健二
Lumières Kenji Nakagawa

2016年 12月1日(木) 18:30 開演 18:00 開場
入場料 《全自由席》 / 【一般】前売 5,000 円 (当日 5,500 円) 【学生】 3,000 円

王子ホール【東京銀座】

主催：ラ・ブレイヤード 後援：モーツァルト・サロン

チケット取扱い ラ・ブレイヤード / TEL: 090-5057-1211 Email: nqg01636@nifty.com
王子ホールチケットセンター / TEL: 03-3567-9990

ジャン・コクトー

サティの小さな作品は鍵穴のように小さい。しかし、眼を近づけるとすべてが変わる。

坂口 安吾

音楽は常に新陳代謝し、今日の音楽は常に青年の音楽でしかなかった。しかし永遠に青年である音楽が生まれた。エリック・サティの音楽がそれである。

エリック・サティ

今は私は食欲がない。歯の端で食べている。近いうちに、もしかしたら鼻の端で食べるようになるかもしれない。

ジョン・ケージ

サティは彼自身の核心において、自然に彼自身と音楽を愛すること、その孤独と勇気を知っていたのです。

プログラム Programme :

ジョン・ケージ John Cage

「四方の壁」より (1944) *Extraits de Four Walls*

VI ~piano solo~

VI

スウィート・ラヴ ~solo for voice~

Sweet love (Merce Cunningham)

エリック・サティ Erik Satie

潜水人形 全5曲 (1924)

Ludions (Léon-Paul Fargue)

スポーツと気晴らし より 5曲 (1914)

Extraits de Sports et Divertissements

天使たち (1886)

Les Anges (J.P. Contamine de Latour)

ジョン・ケージ John Cage

子守唄 (1991) ~piano solo~

Lullaby

セルクス2 より (1984)

Extraits de Selkus 2 (Marcel Duchamp)

エリック・サティ Erik Satie

ワルツ=バレエ (1985) ~piano solo~

Valse Ballet

あなたがほしい (1900)

Je te veux (Henry Pacory)

いいともショショット (1905)

Allons-y Chochotte (D. Durante)

* * * * *

ジョン・ケージ John Cage

花 (1950)

A Flower

エリック・サティ Erik Satie

エレジー (1886)

Elégie (J.P. Contamine de Latour)

愛をこめて (1902)

Tendrement (Vincent Hyspa)

言葉のない3つの歌曲 (1905)

Trois mélodies sans paroles

エンパイア劇場の歌姫 《ディヴァ》 (1904)

La Diva de l'Empire (D. Bonnaud / N. Blès)

ラグ・タイム 《バラード》 (1917) ~piano solo~

Rag-Time *Parade*

ジョン・ケージ John Cage

エキスペリエンスNo2 (1948) ~solo for voice~

Experiences No2 (E.E. Commings)

ソング・ブックス (「声のためのソロ」より) (1970) ~solo for voice~

Extraits de Song Books

18の春を迎えた素晴らしい寡婦 (1942)

The wonderful widow of eighteen springs (J. Joyce)

都合により、曲目が変更する場合がございます。予めご了承ください。

奈良ゆみ / ソプラノ

Yumi Nara, soprano

相愛大学声楽科卒業後、フランス政府給費留学生としてパリ国立高等音楽院に入学、メシアンに注目される。以後パリを拠点としてヨーロッパ各地で演奏活動を展開。色彩感にあふれた声と創造的な表現力は、とりわけ現代音楽の分野で注目を集め、デュサパン、ダオ、エロワ、松平頼則、平義久をはじめ多くの現代作曲家から曲を捧げられている。

パリ・オペラ座で演奏されたメシアン『ハラウィ』をはじめとして、シェンベルク『月に憑かれたピエロ』、オハナ『三つの御花の物語』、『サティとフランス六人組』やラヴェル『シェヘラザード』などが高い評価を受ける。さらに、西鶴『好色一代女』のテキストを使ったジャン＝クロード・エロワの『仏明会』や、松平頼則のモノ・オペラ『源氏物語』の歌手手として、日本の音楽・文化が西洋の現代音楽と結びつく可能性を明示した。

東京でドビュッシー『ペレアスとメリザンド』(ジャン・フルネ指揮、東京都交響楽団)を歌う他、日本各地でクリエイティヴなテーマでリサイタルを行っている。パリで開催されたメシアン生誕 100 年記念オーブニング・コンサートでは『ミのための詩』を歌った。(Pf: ロジェ・ムラロ)

CD 録音も多く、『ドビュッシー歌曲集』(Pf: クロード・ラヴォワ)は、『ル・モンド』仏音楽誌で最高推薦盤に挙げられている。

ホームページ <http://www.yuminara.com>

寺嶋 陸也 / ピアノ

Rikuya Terashima, piano

1964 年生まれ。東京藝術大学作曲科卒、同大学院修了。オペラシアターこんにゃく座での演奏や、97 年東京都現代美術館でのボンビドー・コレクショント展開記念サティ連続コンサート「伝統の変装」、03 年パリ日本文化会館における作品個展「東洋・西洋の音楽の交流」などは高く評価され、06 年にはタンゲルウッド音楽祭に招かれボストン交響楽団のメンバーと自作を含む室内楽を演奏した。作曲のほか、ピアノの演奏や指揮、音楽祭の音楽監督など、活動は多方面にわたる。オペラ『ガリレイの生涯』『末摘花』、合唱ファンタジア『オホホ島奇譚』『樹の奇・危・嬌〜ピカソくんとうたおう』、『尺八・二十絃箏と管弦楽のための協奏曲』、オーボエ・三味線と打楽器のための『異郷の景色』、朗読と箏、室内管弦楽のための『貝の火』など作品多数。「大陸・半島・島 / 寺嶋陸也作品集」(ALCD-9026)「二月から十一月への愛のうた (栗山文昭の芸術 2 / 寺嶋陸也作品集)」(VICS-61092)ほか多くのCDがある。

ホームページ <http://www.gregorio.jp/terashima/>

奈良ゆみ CD 新発売 <2017 年 1 月 7 日>

〜ガブリエル・フォーレ 晩年の歌曲集〜

イヴの歌、閉ざされた庭、幻影、幻想の水平線
Piano: Monique Bouvet

当日会場限定 先行販売予定!

ALCD-7207 定価 ¥2800 + 税

ALM
RECORDS



【東京銀座】

王子ホール

東京都中央区銀座4丁目7番5号
TEL: 03 - 3564 - 0200

- ・JR『有楽町駅』下車
銀座口から徒歩7分
- ・地下鉄『銀座駅』下車
A12出口から徒歩1分
- ・地下鉄『銀座一丁目駅』下車
9出口より徒歩5分
- ・地下鉄『東銀座駅』下車
A2出口から徒歩2分